

冬仕度は、いかがですか？

11月になりました。急に涼しく(人によっては寒く)なってきましたが、いかがお過ごしですか？
冬といえば、どうしても避けて通れないのが、『結露問題』です。皆様、その対策はできていますか？
結露することにより、カビが生えやすくなったり、窓台等の建材の表面材がめくれたり被害が出ます。
そこで、出来るだけお金をかけずに、結露を防ぐ方法を紹介します。

結露とは、気密性能が良く、温度差が有り過ぎたり、湿気が多過ぎたりという要素が重なって発生します。
これらの要素を除く事により、結露を防ぐ事が出来ます。

- 一、換気扇を作動させ、窓を少し開ける。(換気扇は、外部に空気を放出するので、開いた窓から外気を入れ、温度差を少なくする。)
- 一、室内の間仕切りを可能な限り開け、空気が循環出来るようにする。(物入れ等を含む)。
(体積を増やすことにより、宅内の温度が平均化し、湿度を下げる事ができる。)
- 一、ファンヒーターや、加湿器等の湿気を放出する家電品の使用時は、頻繁に空気の入替えをする。
- 一、カーテンは、閉めっぱなしにしない。(カーテンと窓との間に空気層が出来る。)
上記内容を行うことにより、結露の発生はある程度防ぐ事が出来ます。

どうしても寒さに耐えられない場合は、節電効果としては逆行しますが、除湿機の活用や、エアコンの暖房(除湿効果あり)との併用をお勧めします。

工事部 西村 眞和